

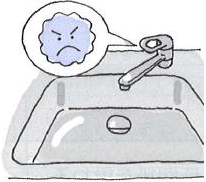


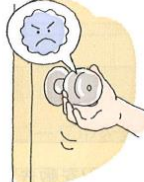
ノロウイルスによる感染防止対策について

平成27年12月、大府市内の施設で製造された弁当を原因とする食中毒が発生しました。今回の食中毒では、症状のある園児の便から「サルモネラ属菌」と「ノロウイルス」が検出されました。

冬季はノロウイルスによる感染症や食中毒が多発する時期です。手洗いを励行し、ノロウイルスによる感染を防止しましょう。

サルモネラ属菌	ノロウイルス
<p>○主な症状は下痢、腹痛、発熱です。乳幼児では重症化することがあります。</p> <p>○主にサルモネラに汚染された卵や肉類などが感染源となります。人から人への感染はあまり見られません。</p>	<p>○主な症状は下痢、おう吐、腹痛、発熱などで、発症後約1～2日で快復します。乳幼児では脱水症状を起こすことがあります。</p> <p>○感染すると、便や吐物に大量のウイルスが排出されます。症状がなくなっても、数週間にわたって便中にウイルスが排出される場合があります。</p> <p>※症状がなくても、ノロウイルスに感染していることがあります。</p>

ノロウイルスは人から人へ感染するため注意が必要です

感染経路	<p>○ノロウイルスに感染している人が使用したトイレや触れたドアノブなどから感染が広がる可能性があります。</p> <p>○吐物の処理の仕方が不適切だと処理した人が感染することもあります。</p> <p>○お風呂などが、ノロウイルスに汚染されると感染が広がる可能性があります。</p>
ノロウイルスの汚染が起りやすい場所	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;"> <p>水道の蛇口</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>トイレの便座・フタ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>洗面台</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>ドアノブ</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：ノロウイルスからまもる！！公益社団法人日本食品衛生協会</p>

下痢、おう吐等の症状が見られる場合は、速やかに医療機関を受診して下さい。

感染防止のために

① しっかり手洗いをしてください

調理前、食事前、トイレの後、オムツ交換後、吐物の処理後は、特に念入りに手を洗いましょう。手洗い後に使用するタオルは共用せず、個人ごとに専用とするか、ペーパータオルを使用しましょう。



1 水で手をぬらし、石けんをつけて手のひらをよくこする。



2 手の甲を伸ばすようにこする。



3 指先、爪の間を念入りにこする。



4 指の間を洗う。



5 指と手のひらをねじり洗いする。



6 手首も忘れずに洗う。



7 十分に水で流す。



8 ペーパータオルでふき取ってよく乾かす。

② 患者の吐物や便は適切に処理してください

処理のポイントは以下のとおりです。

- ◆使い捨てマスクと手袋、エプロンを着用する。
- ◆ウイルスが飛び散らないように吐物・便をペーパータオルで覆い次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度約0.1%）で浸すように静かにふき取る。
- ◆処理後は念入りに手を洗う。

③ 家庭内での消毒のポイント

- トイレ等の共用設備の清掃と消毒を行いましょう。特にトイレの内側のドアノブは汚れやすいので注意しましょう。
- 食器等の下洗いやおう吐後にうがいをした場所等も、0.02%の次亜塩素酸ナトリウムで消毒後、洗剤を使って掃除をするようにしましょう。
- 患者はお風呂の入浴を控えたり、入浴順序を最後にしましょう。また、浴槽水は毎日完全に入れ換え、浴槽は毎日清掃しましょう。
- 患者の吐物がついた衣類等は、熱湯消毒をするか、0.02%の次亜塩素酸ナトリウムで消毒後、他のものと分けて洗濯しましょう。
- 次亜塩素酸ナトリウムの使用にあたっては、「使用上の注意」をよく確認しましょう。

消毒液の作り方

